

3. 目指すべき 地域公共交通の 理念と将来像

3-1. 目指すべき地域公共交通の理念

3-2. 目指すべき将来像

3-3. 理念と将来像に基づく取組の視点

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

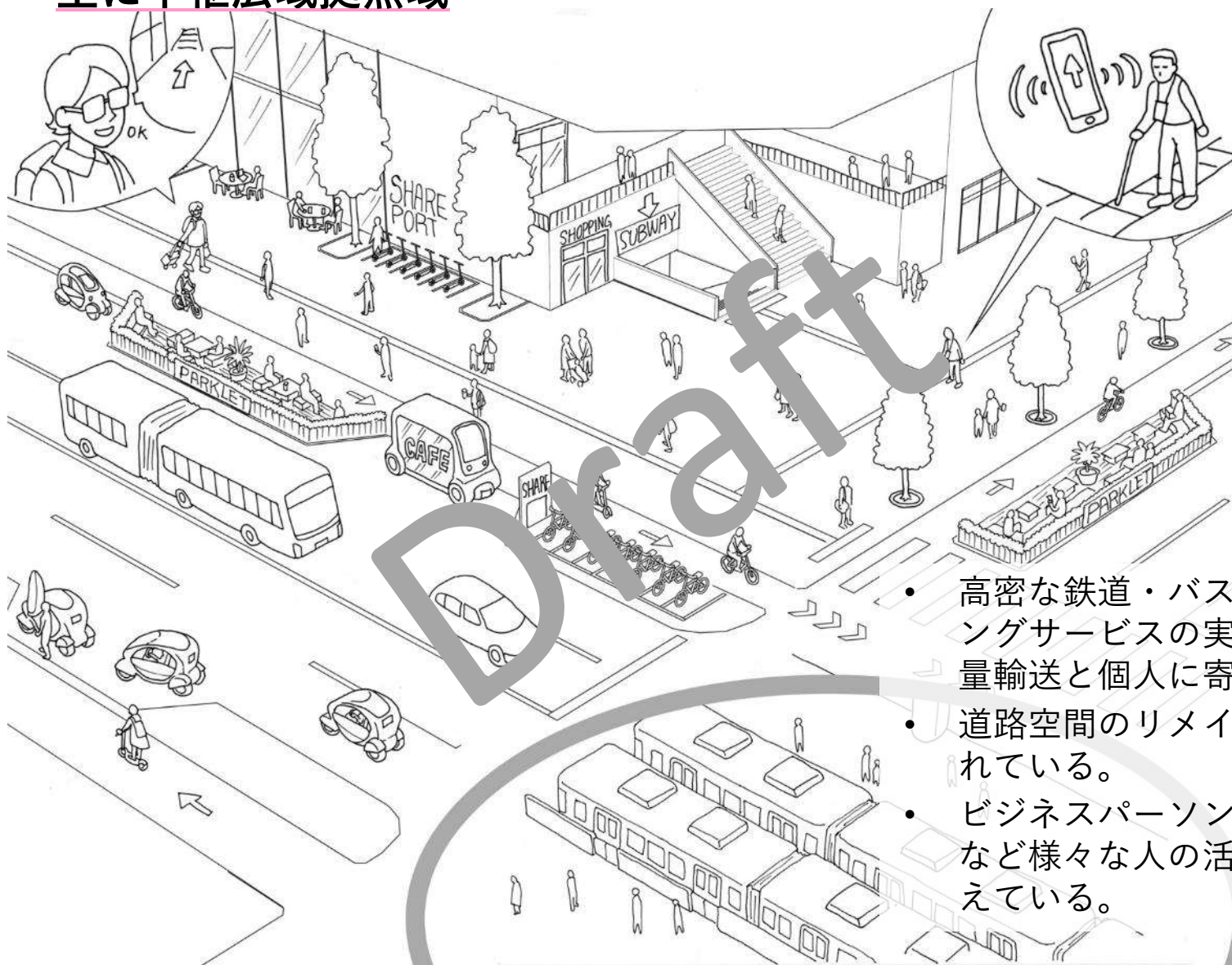
3-1. 目指すべき地域公共交通の理念

- 本格的な少子高齢・人口減少や新しい日常の浸透等、社会経済情勢が大きく変化する中、その時代に相応しい移動手段を実装するとともに、**集約型の地域構造への再編**を進める必要がある。
- 加えて、**新しい価値を創造し続ける**場として人々から選択される、個人の嗜好に合う**豊かな生活**が享受できる都市・東京の形成に向けて、ライフスタイルに応じた多様な活動を支える**高質な移動環境**を確保することも重要である。
- その際、安全で誰もが使いやすく**地球環境との調和**がとれた持続可能な移動手段を実装し、「ゼロエミッション東京」を実現することが不可欠である。
- このため、集約型の地域構造への再編などによる身近な地域での生活の実現 (**Avoid**)、歩行・自転車、公共交通へのシフト (**Shift**)、低炭素車両、再生エネルギー活用 (**Improve**)などの統合的交通政策の導入を図る。
- また、**ポストコロナ社会**においても、シェアリングサービスの提供や自動運転サービス等の導入により活発な移動を促進するなど、交通分野における**最先端技術 (AIやIoTなど) の活用**について、**東京がトップランナーの地位を確立**し、我が国の取組を牽引する。
- これらにより、**多様な主体の参画**のもと地域自らのデザインにより**民間の輸送資源等のリソースをフル活用**し、持続可能できめ細かいニーズに対応できる**地域公共交通ネットワーク**を実現する。

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

● 3-2. 目指すべき将来像

主に中枢広域拠点域

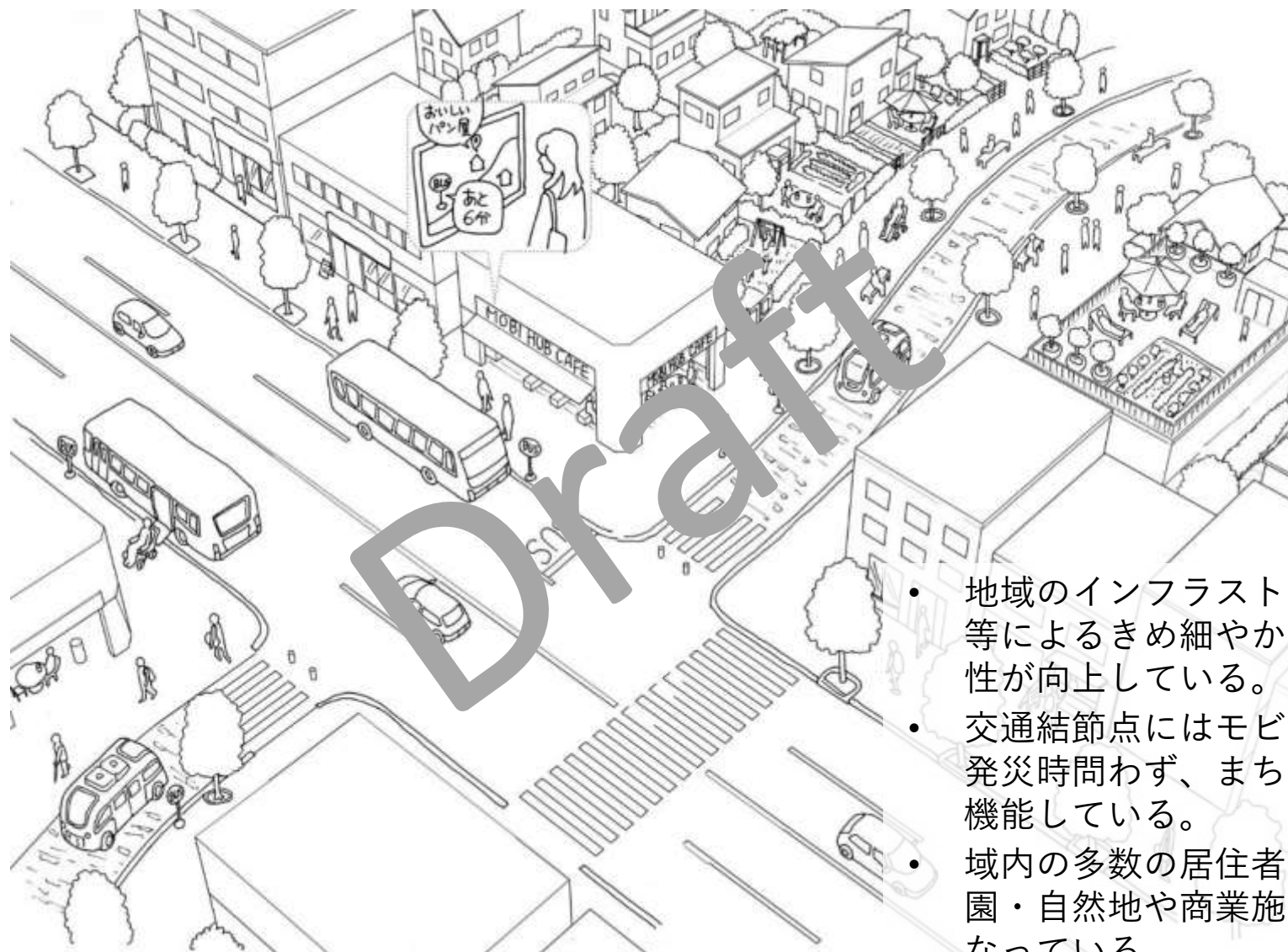


- 高密な鉄道・バスネットワークを補完するシェアリングサービスの実装や交通結節点の整備により、大量輸送と個人に寄り添うサービスとが両立している。
- 道路空間のリメイクにより、人間中心の空間が生まれている。
- ビジネスパーソン、インバウンド等の来街者、住民など様々な人の活動を、便利で快適な移動手段が支えている。

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

● 3-2. 目指すべき将来像

主に新都市生活創造域



- 地域のインフラストックに適した輸送モードの導入等によるきめ細やかなサービス充実により生活利便性が向上している。
- 交通結節点にはモビリティハブが設けられ、平時・発災時問わず、まちや交通の情報が集まる場として機能している。
- 域内の多数の居住者の、通勤・通学移動、身近な公園・自然地や商業施設への移動が、快適・便利になっている。

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

● 3-2. 目指すべき将来像

主に多摩広域拠点域



- 身近な生活の中心地へ交通結節機能が付加され、コミュニティ形成の場としても機能している。
- 多様な主体の協力のもと運営される輸送手段が、高低差を抱える地域でも気軽な外出を支えている。
- 身近な地域内の移動や、リニア、モノレール等と生活の場との移動が充実し、多様な世代が快適に暮らしている。

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

● 3-2. 目指すべき将来像

主に自然環境共生域（西多摩地域）

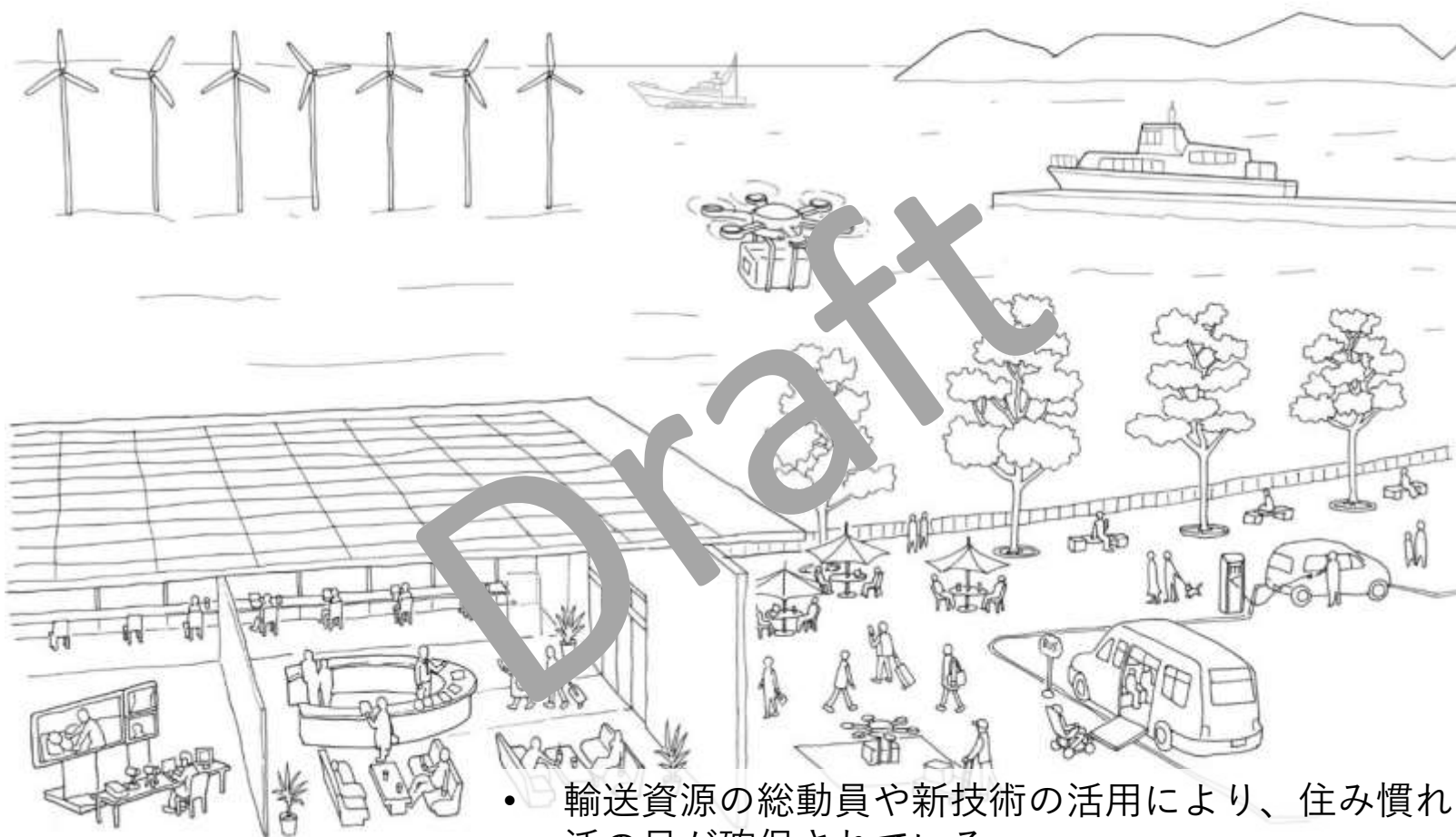


- 輸送資源の総動員や新モビリティの活用により、住み慣れた地域での暮らしを支える生活の足が確保されている。
- 高齢者等の気軽な外出を、生活の中心地を交通ハブとする使い勝手の良い公共交通が支えるなど、自家用車への過度な依存をせずとも、快適に暮らすことのできる移動環境が整備されている。
- 地域住民に加え、レジャー客の移動需要も取り込んだ公共交通が運営されている。

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

● 3-2. 目指すべき将来像

主に自然環境共生域（島しょ地域）



- 輸送資源の総動員や新技術の活用により、住み慣れた地域での暮らしを支える生活の足が確保されている。
- 他の行政分野と地域公共交通政策との連携強化により移動手段が確保、まちの活力が維持されている。
- 地域住民に加え、レジャー客の移動需要も取り込んだ公共交通が運営されている。

3. 目指すべき地域公共交通の理念と将来像

● 3-3. 理念と将来像に基づく取組の視点

視点1 都民生活の質を向上させ、都市活動を活発化する地域公共交通

- ポストコロナ社会も見据えた、公共交通の利用促進
- 都民自らがデザインする地域公共交通
- 最新技術の積極活用
- 交通事業者以外の関係する事業者も含めた多様な主体の参画
- 新たな事業スキームの確立・浸透
- 担い手の安定的な確保

視点2 持続可能な社会の実現に資する、人と環境に優しい地域公共交通

- 環境負荷の低減、ゼロエミッション東京の実現
- 外出を促す移動手段の選択肢の充実
- バリアフリー対応や事業者間連携が充実した、誰もが利用しやすい公共交通の実現
- 多様なモビリティが安全に走行できる空間の確保
- 安心して運転免許が返納できる社会の実現

視点3 地域のまちづくりに寄与する地域公共交通

- 集約型地域構造への再編の加速
- 行政界を意識しないシームレスな移動の実現
- 交通結節機能の充実
- 多様な他分野との連携等による移動需要の創造